

行財政改革を推進するための仕組みについて

町の仕事の総点検をおこなうために事務事業評価を実施しています。

事務事業評価とは、町が行うさまざまな仕事を点検し、それを改善へとつなげるための仕組みです。

「何が地域に必要なサービスなのか」、「より低コストでサービスを提供することができないのか」など、限りある財源をより効果的に使い、より良いまちづくりを行うために欠かせない手法です。

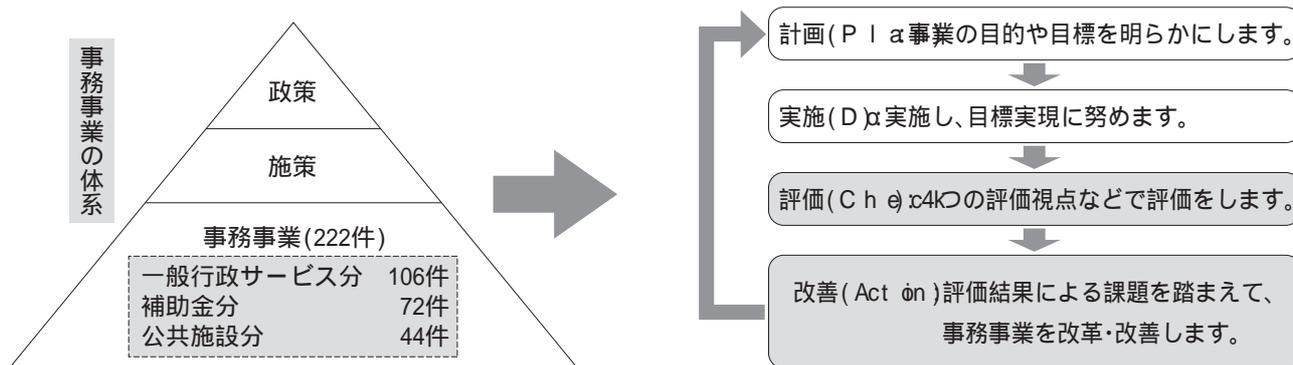
21年度は、「一般行政サービス分」、「補助金分」、「施設分」の3つの区分に分類し、評価を行いました。

今後も事務事業評価の仕組みを活用し、より効果的、効率的な行政運営を図ります。

評価の視点

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1 目的の妥当性
・誰のための事業か
・どのような効果を狙うのか | 2 代替性
・民間委託等が経済的でないか
・行政がやるべきことか | 3 経済性・効率性
・事業コストを下げられないか
・受益者負担は適正なのか | 4 事業休廃止の影響
・なぜ休廃止できないのか
・休廃止でどういう影響があるか |
|---|---|--|--|

各事務事業を4つの視点で評価 21年度事務事業評価の全体像



21年度の各課の評価実施状況

事務事業を所管する課	(1)一般行政サービス	(2)補助金等	(3)公共施設	計
総務課	7件	-	-	7件
企画防災課	5件	4件	-	9件
税務財政課	3件	2件	-	5件
住民課	3件	5件	22件	30件
健康福祉課	22件	11件	3件	36件
観光振興課	11件	4件	-	15件
産業課	5件	15件	2件	22件
建設課	4件	-	-	4件
環境課	10件	4件	-	14件
上下水道課	4件	2件	-	6件
総合支所	9件	4件	8件	21件
管理課	13件	8件	-	21件
社会教育課	8件	13件	9件	30件
(給食センター)	1件	-	-	1件
(温泉支所)	1件	-	-	1件
計	106件	72件	44件	222件

評価結果については、次回以降の広報紙等でお知らせいたします。